

高精度直進作業アシスト装置現地セミナー

営農現場における 高精度直進作業アシスト装置の 導入効果

農事組合法人 アグリサポート獅子目 北郷 久幸

経営の概況

サツマイモ専作経営 15ha

○澱粉原料用	シロユタカ	7 ha
○焼酎原料用	コガネセンガン	7 ha
○加工原料用	アヤマラサキ	1 ha

作業受託（アグリサポート獅子目）

代かき・・・20ha
 田植え・・・20ha
 稲刈り・・・30ha

5月は大忙し

以前は

平成16年 葉たばこ減反、サツマイモ7ha

その後 葉たばこ廃作、サツマイモ10ha＋ダイコン1ha

平成24年から、サツマイモ専作に

機械装備

トラクタ 90馬力(耕起, 耕うん用)・・・ロータリ, プラウ, サブソイラ
60馬力(耕うん用)・・・ロータリ
20馬力(畦立用)・・・1畦用畦立マルチャ
ポテトハーベスタ(GZ650)

労働力

自家労力・・・本人, 妻
常時雇用・・・男性2人
臨時雇用・・・女性5人(4～5月: 苗取り, 植付)

1畦用畦立マルチャ





2畦用畦立てマルチャ(2014年)



2畦用畦立てマルチャ(2015年)



直進作業アシスト装置の導入効果

◎自分の作業負担(疲労)が大きく減った

◎作業中の異変(肥料がでていない, マルチが切れた)にすぐ気づく
→補助者が走って追いかけていい

○畦が曲がらず, 行程間隔が揃う

○セミクローラで雨上がりも作業できた

×畦あわせが難しい, 切り返しが必要←2畦用でトラクタが大きい

×マーカが張り出し, 旋回に気を使う

市販化に向けた期待と要望

○雇用者にオペレータを任せられる **2台のトラクタを同時稼働**

耕うん → 畦立て → 枕地耕うん → 枕地畦立て →→ 次の畑へ移動
ロータリ マルチャ ロータリ マルチャ

○2.2km/hで作業が可能(1畦マルチャ並み)

●操舵モータの操作が煩わしい

●マーカの強度は上がったが, 動きが遅い

●アシスト装置導入のためのアシストが欲しい